

生田神社会館で チュー太郎の 古稀を祝う



左より永田・中西・小泉・陳・市野・笹山(下) 赤根さんからチュー太郎の皆さん

10月1日の夕べ。生田神社会館で「チュー太郎の古稀を祝う会」が開かれ、約150名が集った。

作家の陳舜臣氏、画家の中西勝氏、陶芸家の市野弘之氏、美術評論家の赤根和生氏、永田良介商店会長の永田良一郎氏、コミュニティサービスKKの小泉正己氏ら10年前に還歴を祝ったメンバーに、新顔の笹山幸俊神戸市長が加って、甲子園が誕生した子年生れで今年70才、古稀を迎えシルクハットで若々しく登場拍手を浴びた。元神戸新聞論説委員の竹田洋太郎氏は前日に再入院で欠席。(残念)先輩の森実勉氏(東神社)から激励の言葉を受けた面々は、「これから仕事上、作品の上で元氣にお目にかかりたい」と陳舜臣氏。勝つあんは「人間は生きているだけで値打ちがある」と咲子夫人と「十九の春」を唄い、作陶50周年を迎えた市野氏は「仕事、酒に恵まれたが「恋」をしそんじた」と。車椅子でガンと闘う赤根氏は「大病を克服して頑張りたい」。「神戸っ子とオール関西が早く健全財政に」と経理マンの水泉氏。アーバンリゾートフュア神戸®を成功させ二期目の市長選に挑む笹山氏は「まだまだ仕事をせいといわれております」と意慾充分。永田氏は「10年後の会を楽しみに」と応えた。



写真前列左より紙谷昌子（社会福祉）、アナ・マリア・レオンハルト（国際交流）、井植貞雄、橋川真一（報道出版）、加藤征史郎（科学技術）、後列左から3人目、大前哲（文化芸術）、4人目、辰岡信吾（地域活動）各氏。

第17回井植文化賞表彰式 地域での地道な活動を顕彰

第十七回井植文化賞（財団法人井植記念会主催）の表彰式が、九月十一日、井植記念館（垂水区）で行われた。

六部門における今回の受賞者は大前哲（文化芸術）、加藤征史郎（科学技術）、KOBÉ在宅ケアボランティアグループ「ほへみ」（社会福祉）、社団法人淡路青年会議所（地域活動）、「播磨学講座全四巻」（報道出版）、海星病院ボランティアグループ（国際交流）の個人・団体。

当日は、井植貞雄副井植記念会理事長の挨拶の後、選考経過が、柴田仁（文化芸術）、尾崎敬司（科学技術）、野上文夫（社会福祉）、小室豊允（地域活動）、松田禮二（報道出版）、住野和子（国際交流）各氏より報告され、賞の授与となった。次いで受賞者代表挨拶に立った橋川真一・姫路獨協大学播磨学研究会代表は、「受賞は大いに励みとなり、今後の活躍の弾みとなります」と、受賞者全員の思いを代弁。

表彰式の後には、記念パーティ。地域活動部門の選考委員でもある小笠原暁青屋大学教授の音頭で乾杯、和やかな歓談が続いた。

井植文化賞の受賞者は、今回で一〇二個人・団体となり、地域に根づいた賞としてゆるぎない地歩を築いている。

□第13回神戸ネオトロピカル協会の

アーバンリゾート チャリティ大夜会



左上 ネオトロダンス教室のチャチャ/右上 石川忠、藤本ハルミ、陳城栄、森会長、佐藤康、高木東六、松山雅子、竹鶴威さんから幸せのバード達/左下 瀬戸内美八さんと合唱/中は羅清水さんの唄/右下 フルーツフラワーサンバ風景。

「音楽と舞踏を通して友情の輪」をかかげる社交団体「神戸ネオトロピカル協会」の第13回大夜会が9月18日の夜、新神戸オリエンタルホテルで約50名の「アーバン・リゾート・パーティ」を開いた。

4月から9月迄開催中の、アーバンリゾートフェア神戸'93にふさわしくテーマは「花と小鳥と果物のパラダイス」。森美代子会長は「不透明な時代にこそ、潤いのある人間関係を」と森の女神となつて開会宣言。幸せのバード達に紛した台湾からのゲスト陳城栄さん(台湾シグラム会長)や、東京からの作曲家・高木東六さん、ニッカKK社長の竹鶴威さん、川崎汽船取締役の吉國輝雄さん、神戸は大月真珠の大月尋男社長、オースタイル総本社会長の川上勉さんらが、神戸の女性達にエスコートされ祝杯をあげた。今回は音楽は、片岡学とエスクワイアクインテット、またビッグバンド・モダンタイムスの小気味よい演奏。司会は玉井孝さん。ショータイムは、羅清水さんのイタリア・中国の歌曲。また、元宝塚スターの瀬戸内美八さんによる新曲「フローリーのワルツ」。「フルーツフラワー・サンバ」(小泉美喜子作詞・小野瀬恒一作曲)の紹介が会場を盛りあげた。「13回目もチャリティは里親運動に」と藤本ハルミ代表幹事から贈られた。

◆最新スーパーquick法
一重の目を二重にしたい人はもちろん、二重のラインを変えたい人、もっとクッキリした二重にしたい人は最新の二重術で思い通りの素敵な目元ができます。鼻を高くしたい人、鼻筋の通ったきれいな鼻にしたい人は、スーパーインプラント法をお勧めします。

◇二重術12万円、隆鼻術(スーパーインプラント法)23万円、ワン鼻修正28万円

◎魅せるバストラインに

小さいバストのせいで、お洒落に自信が持てない人には豊胸術がお勧め。生食水を使用する安全な方法で、希望する大きさの張りのあるバストにできます。

◇豊胸術70万円

◎垂れたバストも

下がってきた胸のせいで、若々しさがなくなった人も、画期的バスト若返り術で、元通りの張りのあるバストにできます。乳輪・乳頭の縮小も一緒にできます。

◇バスト若返り術60万円

※カウンセリング無料。

PRESENT



美容整形に関しての最新情報を満載した本「スーパースーパー美容術のすべて一美しさ自由自在」(品川美容外科監修)を抽選でプレゼント。ご希望の方はハガキに住所・氏名・年齢・電話番号を書いて下記の宛先までお送り下さい。

〒108 東京都港区港南2-6-3 新富ビル3F
ビューティークラブ「スーパースーパー美容術のすべて」
プレゼント 神戸っ子係まで

24時間無料テブ案内

☎0120-006477

品川美容外科形成外科

☎078(331)7183<女性>

☎078(331)4102<男性>

診療時間/AM10:00~PM7:00(年中無休)

※各種クレジットカード・ローン可

[大阪]06(312)1420<女性> [京都]075(344)3386<女性>



神戸市中央区三宮町
1-3-3 小林ビル6F

Before



After



最新美容術で、若く美しく。

美しい歯並びは、

お口の健康の大切なキーポイント



当院は、歯科矯正の専門医院です。

歯並びが悪いと、口元の美感を損なうだけでなく、虫歯や歯ぐきの病気にかかりやすくなったり、頭痛、肩こり、胃弱をひきおこす原因となることもあります。矯正治療は小中学生の頃に行うことが多いのですが、大人になってからでも治療は充分可能です。噛み合わせの一部分を治すだけでも、大変良い結果が得られる事が多々あります。これらのことが気になる方は、是非一度ご相談下さい。

◆診療時間

午前10時~12時30分

午後2時~6時30分

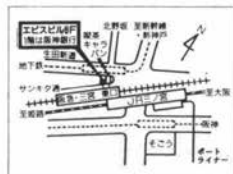
◆休診日

木曜・日曜・祝祭日

TEL・078-332-5735

神戸市中央区北長狭通1-2-2 エビスビル8F

〒650 (阪急三宮駅東口北側出口向い)



吉田矯正歯科クリニック

◆育成医療指定医療機関

EVENT TOPICS

Fingers Concert」を上演する。

演出にタレントの小山乃里子さん、司会に毎日放送の平松邦夫アナウンサーを迎えた今回は、「ウエストサイドストーリー」のメドレーをメインナンバーに、5台のピアノと50本の指を駆使した3世代ファミリーのサウンドをたっぷり聴かせてくれる。

★3世代ファミリーの リサイタル

ラジオやステージでポーカー、DJとして活躍中の十川尚子さんが、母の得津奈都子さん、叔母の十川千

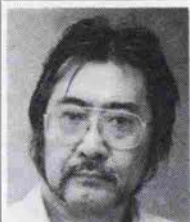


十川 尚子さん

江さん、そして娘2人を加えた5人のファミリーによる、歌あり演奏ありの楽しいコンサート「Fifty

★新谷瑠紀の世界

さんちかタウンの黄金像「ALBA」、東遊園地の彫刻時計の黄金像「M



新谷 瑠紀さん

ARINA」等でおなじみの新谷瑠紀さんが彫刻展を開く。イタリア彫刻芸術の精神を受けつぐ、「新谷瑠紀の世界」である。

◇日時 10月1日(金)

12月27日(月)

◇会場 神戸・北野ホワイト

ハウス

◇日時 10月15日(金)

午後6時30分

◇会場 大阪リサイタルホール

◇入場料 5000円

◇問い合わせ オフィス・チャコ

☎078-431-4530

★4人の作曲家に挑戦

高い評価を得ている歌唱力で常に意欲的な作品に取り組んでいる関西二期会会員の水澤節子さんがソプラノ・リサイタルを上演する。



水澤 節子さん

今回は万葉恋歌を題材にした関西初演となる三木稔の「相聞Ⅲ」を始め、間宮芳生、スペインの作曲家フアリヤ、アメリカの前衛的作曲家のアイヴズなど内外の個性的な作曲家の作品を取り上げている。

◇日時 10月30日(土)

午後6時30分

◇会場 神戸文化ホール

◇入場料 2800円

中ホール

★日本の心をうたう

関西二期会会員のソプラ



足立 輝代さん

ノ歌手足立輝代さんの「日本の心をうたう・足立輝代リサイタルⅢ」が神戸ポर्टピアホテルで開かれる。

「日本のうた」をライブワ

ークとする足立さんの集大成としてのこのコンサートも第3回目を迎え、「さく

ら」「浜辺の歌」など代表的な日本の抒情歌を品格ある歌唱で歌い綴る。同題のCDリリース記念も兼ねた今回はピアノ、シンセサイザーを加え、より幻想的で情感豊かなステージが楽しめるであろう。

◇日時 11月12日(金)

午後7時

◇会場 ポートピアホテル

大輪田の間

◇入場料 4500円

★プロ歌手生活30年

松本幸三さんリサイタル



松本 幸三さん】

数々の音楽賞を受賞しているテノール歌手の松本幸三さん。その歌手生活30年を記念し、独唱会が開かれる。テーマは「うたいまくって30ねん」。オペラ等活躍している松本さんだが、今回はポピュラーな曲も多く盛り込まれており、ファンを楽しませてくれそう

◇日時 11月14日(日)

午後4時

◇場所 神戸文化ホール

◇入場料 4000円

K.F.S. NEWS 169

神戸ファッション市民大学OBによるグループ
神戸のファッション都市化をめざす

「ここに神戸のハートがある」



左 右
9月
マン
スリー
サロ
ンの
よう
す
市民
生協
にて

今月のマンスリーサロンでは9月17日(金)午後6時30分より、市民生協会館で小誌編集長小泉美喜子による講演が行われました。好感度シリーズ①「ここに神戸のハートがある」と題して、編集という仕事を通して神戸の街と深くかかわってきた経験に基づいた講演でした。

「現代は不透明な時代と言われていますが、その中で『好感度』ということが大切になってきたと思います。生きていく上で『好き』というのが大事なのではないのでしょうか。私は神戸っ子という雑誌を作っていますが、神戸の街がとても好きなんです。戦争の時に岡山に疎開したことがあるのですが神戸の街が恋しくて、帰ってきた時は本当に嬉しかったですね。動物には触

角的な感覚があって、亀井一成さんがおっしゃってましたが、チンパンジーにも好き嫌いがあるように、自分の体質に合ったものを見つけることが、大事だと思います。神戸は開港120年、西洋だけでなく、世界各国からの様々な文化の影響で、ハイカラ伝統の文化を形成してきました。階級や国を気にしない神戸独特な感覚は私が伝統のある街岡山へ行って初めてわかりました。『不易』一ずっと変わらないものと『流行』一常に変わっていくもの、この2つをいかに自分の中に取り入れていくか。私の場合は『神戸っ子』を通して自分のずっとしてきたことが神戸の街に投影するように、『不易』と『流行』を選択しながら、感性を磨いてきました。神戸っ子の表紙に小磯良平さ

んの絵をずっと掲載していますが、今でも小磯先生が毎朝、虫の様にデッサンをしてもらったのが印象的です。先生は人間が好きだから人間を描いて野の花たちが好きで、モーツァルトが好きで……。神戸のハイカラな伝統はこういう先生方が作られたんだなあと思います。いい文化をみんなに支えられながら、力を合わせて本作りを続けていきたいと思います。」

★マンスリーサロンご案内

●ファッション公開講座

講師 立尾長三氏

〈ファッションコーディネーター〉
神戸芸術工科大学 教授

日時 10月27日(水) 午後6時30分

場所 神戸市産業振興センター

3F 大ホール

神戸市中央区東川崎町1-6-4 ハー
バーランド内 TEL (078) 360-3199

一般会費 2,500円

※会員は無料ですが、ぜひ一般の方をお誘い下さい。

講演内容

今回も婦人服のみならず、紳士服、シューズ、ディスプレイ等、この8月・9月に海外各地を廻って集めて来られた立尾先生の生の情報を、スライド300枚をまじえて、お話し頂きます。

70TH KOBE JAZZ TOWN

■インタービュー
小曾根 実

△ジャズ・ピアニスト▽

今年には神戸ジャズ誕生70年目。そこで今回は、半世紀を神戸のジャズと共に歩んで来られたジャズピアニストの小曾根実さんに、とっておきの話しを伺いました。

●地震がとりもつ神戸とジャズ

1923年の関東大震災で、横浜港が使用不可能に。それまで横浜港を利用していたアメリカ航路の船が、神戸港へ入るようになって、フィリピンのジャズピアニスト、フランシスコ・キーコに代表されるジャズマン達が、神戸に上陸し始めたんです。オリエンタルホテルにキーコは居ついたんだか

ら、まさに今日はジャズゆかりの地で、神戸のジャズについてお話しさせてもらおうわけですね。

●ダンス禁止令と神戸ジャズ

当時、塩屋カントリークラブや神戸クラブで、連日外国人パーティーが開かれていた。それが日本人にも飛び火して、あちこちでダンスパーティーやっていた。ところが、しばらくして大阪でダンス禁止令が出て。でも神戸には出なかつたから、大勢人が集まった。これが、ジャズが神戸に根付いた大きな理由のひとつやな。

戦後になると、関学やら甲南の学生も詰めかけて。女の子はみんな落下傘スカートで、ジャズに合わせて踊るわけ、尼崎のダンスホールや宝塚会館で。宝塚会館なん

デキシーランド・ハート・ウォーマーズ。トランペットは片岡学氏



て床にスプリングが入って、踊ると床が揺れたもんだ。

●踊るジャズ、座って聞くジャズ

関大に入った僕は、関学の「デキシーランド・ハート・ウォーマーズ」っていうアマチュアバンドで活動していた。神戸ジャズをひっさげて、東京のテレビに生出演したこともある。あちこちでアルバイト演奏もしてたんだけど、キャンプでは米兵のいい音楽が聞けるは、破格のギヤラはもらええるは、食糧事情の悪い当時、おいしい食物にありつけるは、言うことなかつたなあ。そのうち小坂明子のお父さんの努氏率いるコンボに入っで、プロとアマの2足のわらじをはいてた。その頃には、ダンス音楽が主体だったジャズも、座って



大きな目、よく通る声が魅力の小曾根さん

聞く音楽になってきていた。「座
って聞くジャズ」の発展に貢献し
たのは、ラジオ関西の末広光夫さ
んと、「レストランソネ」のママ
さん。それまで神戸のジャズは、
「コペン」や「銀馬車」などのジ
ャズ喫茶、「新世紀」や「北野ク
ラブ」「ナイト&デイ」などのダ
ンスクラブのものであった。なのに
「ソネ」のママは、本格的ジャズ
ライブの店を作っちゃったんだか
ら。それもそれまでの旅館経営を
すっぱり止めて。

●これからの神戸ジャズ

今後僕達は神戸で、スタンダ
ードなジャズを演奏していく。こ
の間も店に来た若い子が、古いナ
ンバーの曲をリクエストしてきた
んだ。それまで聞いてたロックや
フォークとまた違って、親が聞いて
たジャズが、新鮮に聞こえたん

●'93・神戸・ジャズ

神戸にジャズが誕生してから
今年で70年。これを記念する意
味で、またアーバンリゾートフ
ユア神戸'93のイベントとして様
々なジャズに触れる機会が多か
った年ではあるが、そのトトリを
飾るのが恒例となった「KOB
E JAZZ STREET」。
10月10・11日と連休にあたるの
で、散歩がてらワッペンを胸に
北野の各会場を訪ねて回るのも



東京の日本テレビに乗り込んで、
昭和29年12月12日

やろな。スタンダードなジャズは、
親の世代から子の世代に、ずっと
引き継がれていくと思う。

アメリカなんかでは、ジャズと
クラシックの接点なんてザラ。で
も日本では「ジャズなんて」とい
う空気がまだある。人間だから、
好き嫌いは言ってもいいけど良い
悪いは言っちゃダメだ。とにかく
これからもジャズは、酒を通して
楽しめる、楽しい音楽であり続け
るよ。(於オリエンタルホテル)

楽しいだろう。

出演者は、秋満義考 (D)、

北村英治 (G)、光井章夫 (B)
など実力あるジャズメンのほか
に、海外からジャズ・オマティ
ック・フォアや香港ニューオリ
ンズ・カルテットなど有名アー
ティストが多数参加。加えて6
月に行われた「ジャズ・コペン
ション」で最優秀賞をとった
中央大学のスウィング・クリス
タル・オーケストラの演奏は必
聴に値する。

ミュージカル・ステージ

サト・ノーレ

神戸市中央区中山手通1-22-10
ゾウビル6F
078 (221) 3886

科学●ラウンジ
北野異人坂

神戸市中央区北野町2-9-22
078 (222) 2001

ホテル グランド ビスタ
神戸・北野

神戸市中央区加納町2-13-7
078 (271) 2111

ALBATROSS

神戸アルビトロス

ジャズライブハウス

神戸市中央区中山手通1-22-10
ゾウビル2F
078 (231) 3300

神戸を
福祉の街に

<237>

用語問題について講演を
する伊藤隆二教授橋本 明
〔社団法人家庭看護
促進協会事務局長〕

用語問題が問いかけるもの

今年の七月にカナダのトロント市で「第三回ピ
ールファースト会議」が開かれた。今年の会議

には33の国と地域から一三〇〇人が参加したが、
これは10年前の第一回の会議の十倍の参加者数で
あった。今回、日本からも初めて八〇人が参加し
た。この会議は「ハンディキャップをもつ者である
前に人間である」ことを主張する、知力にハンディ
をもつ人たち自身による権利擁護の運動である。

各国や地域から集まった知力にハンディをもつ
人たちは次々とマイクの前に立って「障害者とい
うラベルを貼られるのはイヤだ」「私たちも人間
なのです。差別をしないで」と口々に訴えた。

施設で暮らす人たちからは施設内での上下関係
や保護する者とされる者という立場への不満から
「もう管理されるのはゴメンだ」「何もできない
赤ん坊のように扱わないで」「施設をなくせ」な
ど次々と意見が出され、「自分の生活を自分で決

定していくことへの援助がほしい」と強い主張が
行なわれた。

最近、こうしたハンディをもつ人たち自身が声
を出し、権利を主張する動きが出てくるようにな
った。それと共に、ハンディをもつ人たちに対し
て貼られていたさまざまなレッテルや表現を改め
ていこうという動きも盛んになってきた。先月号
でこの用語問題に触れたが、この問題に積極的に
取りくんでいる横浜市立大学の伊藤隆二教授は用
語問題の講演で次のようにのべている。

「用語はその社会の文化を反映しているし、用語
でその社会の文化を変えることができる。用語問
題の背景には現代社会の三つの論理がある。一つ
は力の論理。能力の高い者、強い者がトクをして
尊敬されるが逆の者は侮辱される。二つは経済の
論理。儲かることは善いことで、生産力のないも
のは大事にされない。三つは異質排除の論理。ハ



私たちも人間です
差別しないで



障害者というラベルを
貼られるのはまっぴらだ

ンディキャップを負っている者は教育機関や職場から締め出される。用語問題はこの三つの論理を肯定する所から出てくる。たとえば「障害者」——さしさわりがあってじやまな人、と誤解される。「精神薄弱者」——ところが弱い人、人格に欠陥のある人、と誤解される。「更生」——廃品の再利
用を意味するが「……更生施設」が法律用語

「私運も人間です。差別しないで」「障害者というラベルを貼られるのはまっぴらだ」と訴えるビートルファースト会議の参加者たち。(NHKテレビより)

「措置」——この子を施設へ措置する、といういい方がされるが、措置とは厄介な問題とか扱い方の困難な物や人に使われる言葉。「教鞭を執る」——鞭で打つということをかせること。「投薬」——医者が病人に薬を投げて与えたところからでた言葉。他にも「人材」「矯正」「判別」「鑑別」「痴呆」「特殊」「処遇」など問題になる用語が50ほどある。これから用語を変える場合、基本は人権尊重という視点から変えていくこと。不快感を与える用語、科学的に間違っている用語、人

を下に見下げるような用語、人権を侵害する用語はすべて廃語にすべき。害、劣、弱、遅、低、不無、障、愚、痴、呆、欠、廃、薄、滞などの漢字を「人」の頭につけないこと。」と考えをのべている。

「誕生日ありがとう運動」では「精神薄弱」について

て国語辞典や百科事典などにどのように説明されているかを79冊を対象に調べたところ「精神薄弱

の原因は約50%が遺伝」とか「両親とも低い知能の持ち主であると、その子供も低くなる」など根拠のない記述があったり「精神、知能の遅れが恒久的である。発達が停止している」など問題のある記述が30冊にも認められたり「知能だけでなく全人格の欠陥を持っている」など人権を侵害する説明もあり、こうした記述が読者に誤った先入観を与えてしまうことにもなりかねない。

こうした用語について厚生省の研究室も見直しを検討中で近く報告書が出される予定だ。

用語問題は単に言葉や表現を変えればすむことではないのいうまでもない。大切なはこのことを通して私たち一人一人の内面にある差別意識をしっかりと見つめ直し、現代社会の論理や価値観を見直してみることだ。用語問題はそれを問いかけている。



「精神薄弱」の記述について報道された新聞や機関紙

KOBE MODERN CULTURE



演劇

★ソング・オブ・サイゴン

△新神戸オリエンタル劇場開場5周年記念公演▽
10/7(木)・10/24(日)
新神戸オリエンタル劇場
S席7000円 A席4000円

ベトナム戦時下、報道カメラマン、従軍ドクター、日系1世のアメリカ兵、日本人商社マンなど、それぞれの立場で様々な想いを抱きながら、陥落直前のサイゴンで力強く生きた男たちと、彼らの心の支えとなつたひとりのショードンサーの青春の軌跡。

今やミュージカル界のトップスター鳳蘭を主役に、上條恒彦、大谷亮介が脇を固めた今作品は、昨年の東京パルコ劇場での公演も大成功を納めている、この秋見のがせない作品である。



★劇団ふおるむ93秋公演

「火のようにさみしい姉がいて」 作/清水邦夫

△93青屋市民文化祭参加▽
10/23(土)19時 10/24(日)13時
青屋ルナホール 一般当日2500円 高校生以下当日2000円



公演に向けて意欲満々の劇団ふおるむの面々。

新宿アートシアターにて毎年演出家蛸川幸雄と組み若者の生きざまを反映した作品を発表し、その確かな作劇術と魅力ある台詞で、多くの俳優と観客を魅了し続けている現代日本を代表する劇作家の一人、清水邦夫の作品を劇団ふおるむの役者達が演じる意欲的な舞台。



音楽

★マントヴァーニ・オーケストラ 指揮/リチャード・コーミエ

11/2(火)19時開演 神戸国際会

館 S席6500円 A席5500円 B席4500円

ムード・ストリングスの至宝、マントヴァーニ・オーケストラの6度目の来日公演。

今は亡きリーダーのマン・トヴァーニの音楽性を継承し、世界各国で奏で続けているサウンドは、ムード音楽の真髄であり、世代を超えて受け入れられる音楽。「シャルメース」「慕情」「ヴェニス夏の日」などの音楽に浸って秋の夜を満喫できる。



リチャード・コーミエ

★水澤節子

ソプラノ・リサイタル

△第94回あじさい音楽会▽
10/30(土)18時30分
神戸文化ホール・中ホール
入場料2800円(全席自由)

関西二期会オペラ公演の「フィガロの結婚」のケルビーノでデビュー後、数多くのオペラ、コンサートの出演し、その歌唱力で高い評価を得ている水澤節子の



ソロ・リサイタル。

間宮芳生「日本民謡集」より草切節、こきりこ他数曲、フアリヤ「七つのスペイン民謡」全曲など、意欲的な作品を揃えており、楽しいみなコンサートとなっている。

★滝えり子コンサート

魅惑の宵をあなたと
11/6(土)開場17時30分 開演18時30分 神戸国際会館大ホール
前売5000円 当日5500円

ジャズ・ライブハウスでおなじみの神戸アルパトロスのママ滝えり子のコンサート。

A列車で行こう、ジャンキーギター、魅惑のワルツ、日曜はだめよ、など懐しいスタンダード・ジャズ・ナンバーがプログラムされて



おり、青春の思い出に浸りながら魅惑の宵を過せる内容となっている。

指揮／編曲 田中克彦
司会 小山乃里子



映画

★スペインからの手紙

10/9から
神戸国際にっかつ

スペインの北西部、ガリシア地方オレンセの町にシルバ神父が37年前に15人の子供たちを連れて建国した「ペンポスタ子ども共和国」を舞台に、日本とスペイン遠く離れて暮らすことになった兄弟と、そんな2人を暖く迎えてくれるシルバ神父、そして2人の懸け橋になってくれる日本人通訳の女性との心暖まるヒューマン・ストーリー。

出演／緒方直人・原田知世
藤田まこと・佐久間良子



★顔のない天使

91年正月ロードショー

「マッドマックス」「リール・ウェポン」でアクションスターの頂点を極めたメル・ギブソンが、初監督、主演で新境地をみせる、涙と感動のヒューマン・ドラマ。

舞台はアメリカ北東部。教え子を不慮の事故で殺してしまつた元教師と崩壊した家庭から逃げてきた少年が出会い、やがて心を通い合わせるようになる…。



繊細な演技を見せるメル・ギブソン

※サンテレビ主催「カネボウチャコ」映画試写会のお知らせ
日時 11月16日(木)18時30分開演
場所 神戸国際会館
左記「顔のない天使」の試写会ご招待券と「ツヤコート」の試写会ご招待券と「試写会」と書いてモダンカルチャー係まで。
締切は10/31着。



美術

★ミントン二百周年 記念フェア

10/28(木)11/2(火)10時〜19時
大丸神戸店7F特別ホール
入場無料



トーマス・ミントンによって設立されて以来、その卓越した技術が高い評価を得、英国王室や世界各国の王室からの注文を受け、日本でも人気の高いミントンの200周年を記念してのフェア。ミントンの初期から現代に至るまでの歩みを6つのサブテーマに分け、英国



演劇

★オペラ「蝶々夫人」
10/30(土)14時 神戸文化ホール
S席4120円 A席3400円 学生2060円
★歴史に触った女
11/12(金)14(日) 新神戸戸リエンタル劇場 S席5000円 A席3000円



映画

★a b シネマ
キャサリン・ヘップバイン特集
旅情 10/16〜19
アフリカの女王 10/23〜22
★シネモザイク
アラジン 上映中
ジュラシックパーク 上映中
紅の橋 10/9〜
欽ちゃんのシネマジャック 10/9〜15

★アサヒシネマ

リバー・ランズ・スルー・イット
魅せられて四月 10/21
セ・ラ・ヴィ 10/21



美術

★香雪美術館
館蔵茶の湯の美術
11/1〜12/12
★EAGギャラリー
坂田ルツ子
Futsuko's Magical Hats
フェルトワーク展 10/30〜11/7
11/3 13時半〜

★神戸阪急6Fイベントサロン
福井恵子のほのフラッグ・アート展 10/22〜27
★トアロード画廊
宮崎みよし展 10/24〜11/4
★海天堂ギャラリー
菅原洗人展 10/23〜29
★ギャラリーオブジェ
高塚省吾展 10/16〜24

♥第19回愛の手パザー

家庭を失った子供たちに里親を求め、里親運動をすすめるために、10月の里親月間に開催されるパザーに品物のご寄贈を。

と き 10/27(水)10時〜15時
ところ 神戸市立婦人会館4階・5階
問合せ 社団法人産業奨励協会の電話(078)34115046

ミントンミュージアム所蔵作品を初め、貴重な品を展示する。
の展示、販売もあり。

淀川長治
映画評論家



男が女になった四〇〇歳の

『オルランド』

しかに老けること。そこでウルフは美青年オルランドを四〇〇才という年齢にまで生きつづけさせたのか。

×

このあいだ銀座のセゾン劇場で玉三郎演ずる「エリザベス女王」を見た。この芝居はイギリス人が書いた芝居で、かのエリザベス女王は実は男だったという芝居。舞台は第二幕へと進んでヘンリー何とか卿がエリザベスの寝所で彼女に恋を打ちあけて迫る。そのとき顔伏せていたエリザベスがすべてを打ちあけ信じえぬ彼のままで衣服を脱ぎめくるところがある。場内は海の底のごとく静まり、玉三郎までをも実は男であったのだとあらためて悟る。しかしヘンリーなにがしは思いつめあきらめかね

人間にはいつもナニ、というところで苦しんだり楽しんでいたりしている。「男」ってナニ？「女」ってナニ？三〇〇年の夫婦でさえそのナニを知りたく、また発見もする。同じ人間でありながら男に生れてくるもの、女に生れてくるもの、女の性格、男の性格、これがはっきりしているようではっきりしてしまわない。スポーツマン型の男が一瞬ねちこちと女みたいな性格を見せる。小さく台所のすみでごはんの用意ばかりしていた妻君がとたんにひらきなおったりして亭主をおどろかす。人間は男と女に、そうきまってははいない。あそこがちがうだけ。ところがアダムのろっこつ的一本をぬきとってそれがイブになったとイロハのイの字の教えがあつて、それで男を第一に作り、女はそのあと作られたとされている。

男が男を好いたことを語ったのがイギリス人のオスカア・ワイルド、そしてずっとのちのヴァージニア・ウルフ。男の作家のワイルド描く「ドリアン・グレイの肖像」の美青年は三〇年五〇年いっこう老けぬのに彼の肖像画は一年ごとに老けてゆく。女の作家のウルフの小説「オルランド」も、ここについて映画となった。美青年オルランドが四〇〇年も美青年のまま生きつづけたといううたけでなく美青年のオルランドはやがて女になり性器まで女になってついに妊娠して子供まで生む。ウルフ描くこの「オルランド」も男女の差というものを見つめさす。どちらも共通していることは何年たっても老けぬことだつた。ワイルドもウルフも一番おそれたのは男も女もた



ティルダ・スウィントン演じる「オルランド」

男のエリザベスを抱きしめこの男と男は強く接吻してしまふ。

ぐうぜん映画の「オルランド」を思わせた芝居ではあったがウルフ描く小説「オルランド」はあまりの美しき美青年オルランドに見とれたエリザベス女王が、そなたがその美しさを二〇年三〇年五〇年いつまでも持ち得たなら、あの屋敷とあわせ巨財をつかわそう」と命じ、オルランドは四〇〇年を生きのびる。ここにウルフの二重の扉があり、ひとつは永遠に老けぬことへのあこがれを、いまひとつはオルランドはエリザベスからあたえられるという豪邸と巨財、いうならばこの二つの欲、美と巨財へのあこがれをもって四〇〇年を生きのびたと見るこの扉の中味。つまりは「いろ」と「よく」この人間のこう



ふと目ざめると女性の姿に…

を描きながらウルフに(女)と(男)を私たちに手でさわらせてゆく。美しさのあまりあまたある女性とのいろいろとがやがてオルランドを三日四日五日と死せるがごとく眠りつつけさせたあと、ふと目ざめるやオルランドは自分が女になっていることを知る。あわてて大鏡に我が裸身をうつしたところまさしく女。ここで日本の検閲がここの一部をカットせんとした。ところがこの映画輸入もとのフランス映画社の副社長川喜多和子さん、これと争い、ついにヘアを消すことなくこのシーンを無事とおさせたが、哀れ和子さんこのあと数日にして死亡(六月七日。五十三才)惜しくも「オルランド」が和子さんのおきみやげとなったのだ。

「オルランド」はイギリスの女の監督のサリー・ポッターの一九九三年度作品。ウルフの小説はそれより早く一九二八年初版。

映画のオルランドはティルダ・スウィントン(女優)が演じた。一時間三十四分のカラー。この一時間三十四分にイギリス、ロシア、イタリア、フランス、オランダが協力した。九月四日の初日はあいにくすごい嵐。それなのに第一回から場内万席。日比谷シャンテ・シネ・2。かくも世間に興味をあたえたのは、女は男になりたく、男は口にごそ出さぬが一度は女になってみたい、この人間自然の野望が今や野望でなく人間ひとときの現実ドリムとなってきたのがゆえにこの映画は初日から人氣をわかせたわけか。

男が女になりたい。女が男になりたい。この心の奥の手さぐりが、やがて愛をはぐくみ、その愛がセックスにまできわどく進むのを罪悪とした。愛をいましめることこそ罪悪というものを。誰が、かかるタブーを生んだのか。

「オルランド」は日比谷のシャンテ・シネ・2ではすでに十一月までのロングランが予定され、さらにこの年をこすかもしれない。

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより



GOURMET・1

★ふるりの味をきわめた古泉閣の精進料理をどうぞ
秋が深まると楽しみなのが有馬古泉閣の名庭園を望む「慶月」でいただく精進料理はまた格別。この精進料理は縁あって飛騨高山よりの伝統を受け継いでも、材料も飛騨より取り寄せています。生ぐさものは一切使わない禅宗の本膳形式です。そのいわれや歴史を店の人に聞きながら、ゆっくりとくつろいでみて下さい。

■予約・問い合わせ

☎(078) 904-0731



古泉閣「雪精進」

GOURMET・2

★普茶料理はお早目に
眉寿(梅干天プラ)に雲片(野菜の葛揚)。聞くだけでお腹がすいてきそうな品々は、ホテル全但の中国式精神料理、普茶料理の一部。10月末まではコース4,500円(11時から14



ホテル全但「生の蟹すき」

時まで3,500円)で楽しめます。

11月からは、生の蟹すきが5,800円で味わえます。忘年会を早目にご予約の方には特典つきです。

■予約・問い合わせ

☎(078) 391-3838

FASHION

★ベニーは、お洒落な

神戸っ子達の注目の的
神戸国際会館1階にある
インポートブティック「ベニー」は、アクセサリーなどの小物から、ため息の出そうな毛皮まで、お洒落なアイテムが勢揃い。

この冬、注目されそうなのは、ニットファーと呼ばれるもので、柔らかい毛をレーザーカットし、ニットと合わせて編み上げた新感覚の毛皮です。肌触りがソフトで軽く、伸縮性もあるので、カジュアルに着こな

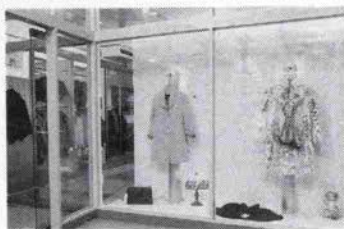


横尾忠則さん(右端)とマーク・コスタビさん(左端)。



してみたいかがでしようか。

「毛皮をまとって車を運転する」のが、この冬のお洒落注目度ナンバー1かもしれません。



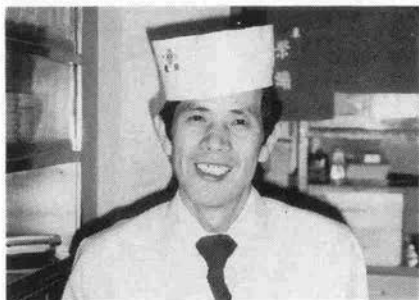
気軽に毛皮を楽しんで下さい。

TALK SHOW

★コーヒーを飲みながら

芸術を語る

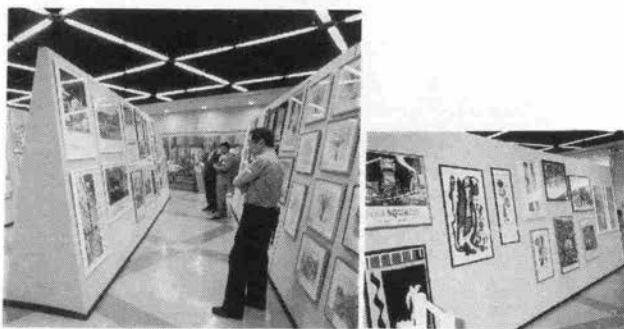
9月18日(金)午後1時より神戸ハーバーランドニューオータニで日本の代表的な現代アーティスト、横尾忠則さんとアメリカの新進アーティスト、マーク・コスタビさんをゲストに迎えて「UCCおいしいコーヒーを飲む会」が開かれました。両氏のコラボレーション展「同一画面での共同制作」が9月23日(木)より10月26日(火)まで神戸阪急ミュージアムで開催されており、この日はお二人の芸術論や共同制作のスライドも上映されました。



●小さい頃から“作ること”が大好き

戎 郭邦さん <栄弥・店長>

板前歴27年という戎さんは、三宮神社の東の通りにある日本料理店“栄弥”の店長さん。この道に入った時、「自分の天職」と思われたとか。優しい人当たりと昔ながらの職人気質。柔と剛の両面を合わせた嬉しかったお人柄。「美味しく楽しく食事を注いで、コミュニケーションしながら勉強させてもらってます」あく謙虚な姿勢を崩しませんでした。



NEWS

★'93額縁絵画総合見本市

— 感性の夢空間 —

毎年恒例の末積額縁絵の見本市が9月1日・2日に会場をメリケンパークからハーバーランドに移して開催されました。得意先関係など全国から約100社を集めての見本市で、これからの芸術の秋に先がけて新作が一堂に集められていました。3万円前後に人気が集まっていたようです。また、これからのシーズン、プレゼント用としての需要も増えることを見込んで、日本の若手イラストレーターの1/2万円の作品もかなりの受注がついたようです。

PRESENT CORNER

▼応募方法 ●葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東区113-1大神戸ビル9F「月刊神戸っ子」神戸百貨店会館プレゼント係まで応募下さい。9月末日消印まで有効です。当選者には神戸っ子から当選葉書を発送、葉書を持って神戸っ子までプレゼントを受け取りにお出かけ下さい。



●ベニーよりプレゼント

右頁で紹介したインポートブティック・ベニーより、アクセサリーを1名様にプレゼントいたします。ミンクの毛皮でできたこのブローチ(¥5,000)は、ふわふわの肌触りでもっともキュート。セーターの胸もとに、コートの際もとにと、素敵にコーディネートできます。

TOPICS

●秋のグルメイベントのお知らせ

神戸のグルメスポットをめぐるスタンプラリー、「グルメゴーラウンド」。今年も9月16日(金)～11月30日(火)まで催されます。

お店のスタンプ3つを集めて応募すると抽選で、神戸市内の有名ホテルのお食事券や神戸ビーフなど、神戸ならではの素敵なプレゼントが当たります。最終締め切りは11月30日。今回は、10月31日までに応募すると「ジバンシィ衣芸文化展」の入場券も当たるダブルチャンスもあります。神戸っ子百店会からの参加店をご紹介します。 ●UCCカフェ・ピエナ モザイク2F カフェ

○UCCカフェラザさん ちか 喫茶・サンドイッチ & ケーキ

○UCCサバス・カフェ ポートアイランド カフェ レストラン

○モロゾフセンター街ショップ サンプラザ1F ケーキと喫茶

○新神戸オリエンタルホテル シューレゼール・エスターレーラ・桂林・日本料理生野・たん熊・明石菊水・北野・レスカル・ミラベル・パサージュ ●神戸ポートピアホテル アランシャペル・ブレンダトワール・聚景園・但馬・サンマロ・レストラン・ド・招福楼・水野・京和村・ベルクルール・やわらぎ・ひら磯・風月堂・レヴァンテ・ディスコキーノーツ

グルメメディア KOBÉ

GOURMEDIA KOBÉ '93

びっと・いん



★飲茶感覚のヌーベルシノ
ワーズ

居留地38番館4階にオープンした「蘭亭茶叙(ランティンティーハウス)」。メニユー、インテリアともに欧華の文化をバランスよく取り入れた、女性向けの洗練されたイメージのお店だ。この「中華料理」はこれまでになかった素材の組み合わせや、油・塩を控えた淡白な味、フランス料理風の盛りつけなどが特徴。



旧居留地38番館でのんびりティータイム

野菜のテリーヌ(600円)ミニ葉飯(500円)チャーシューパイ(350円)と、お腹い

っぱいに食べるといふよりは、友達と会話を楽しみながら美味しいものを少しずつ食べたいという時にぴったり。デザートのおすすめはバナナを蕎麦粉の生地で包んだクレープ(600円)カスタードフリッター(500円)蓮の実のパイ、なつめのパイなど。紅茶、珈琲は各種500円。また、中国茶各種(500円)は一流ホテルにもおいていないほどの超高級品を味わうことができる。ドリンクやデザートだけのオーダーもOK。

■中央区明石町40番地 旧居留地38番館4F 電話078-333-4086
11時~21時 水曜休

★陽気にイタリアン!

ホテルシエレナ本館1階のイタリア料理レストラン「ベルナル」では10月4

日(月)より11月28日(日)までイタリア料理フェアが開かれる。ランチセットは1200円と1500円、ディナーセットは3000円と4000円。素材本来の旨味を地方ごとの多彩なお料理で楽しめるイタリア料理の魅力の本場さながらに味わえる。

「グルメディアKOBÉ'93」のスタンプリー「グルメ・ゴラウンド(9/16~11/30)」にも参加している。スタンプを集めてグルメの秋を満喫してみては。



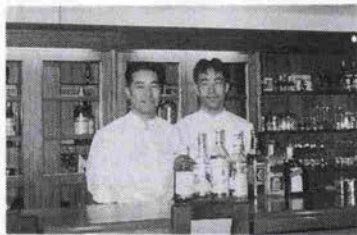
3000円のディナーセット(11/1~28のメニュー)

■神戸市中央区元町通6-2-12 電話078-371-3333 無休
11時~2時 17時~22時

★須磨・妙法寺で

おいしく食べて、寛いで地下鉄妙法寺駅下車、北西に伸びる坂道を3分ほど上ったところに、ピストロ Wakamazu(わかまづ)がオープンした。「周り

が住宅街なので、ファミリー



白井浩一さん(左)と正章さんの息もびったり;

で気軽に立ち寄りたければ」とマスターの白井浩一さん。深みのあるダークオーク調で統一された店内は四季の花々が彩りを添え、居心地のよいリビングを思わせる。

ディナーは和風の皿に生ハムやステーキなど5品が美しく盛られた妙法寺セット(1500円)が人気。お料理の腕をふるうのは弟の正章さん、ホテルで修業を積んできた正統派の味がリーズナブルな価格で楽しめる。お昼には、日替りランチ(780円)ほか10種のセットが。また夜にはパーティータイムもあるのでカウンターで静かにグラスを傾けてみては。

■須磨区妙法寺荒打3-1-9 電話078-743-2665 11時~15時 17時半~22時 水曜日定休

★おかげさまで10周年

「味どころ撫璃古」

選り抜かれた四季の素材に工夫を凝らしてお客様に提供している味どころ撫璃古が、今年12月、10周年を迎える。この秋のおすめは野立弁当5500円。10月1日～11月30日までの内容充実のお得なコースだ。デザートは寒天を固めた中に栗が入ったもので、その得も言われぬ舌ざわりに、撫璃古のこだわりが感じられる。もう一つのおすめは源平鍋。鯉の唐揚げが入るといふ、この珍しい鍋は一度食べてみる価値アリ。カリッとした歯ざわりとジ



愛されて10周年を迎えた「味どころ撫璃古」

★見逃したら損です

ホテルアロードが3周年を迎え、レストランの全面改装中。一階のカフェレストランが仏料理「マフィン」に。これは地階のレストランが移動したものだ。そして地階のバー&レストランは無国籍料理「東亜倶楽部彩葉」に変身する。英国調の居酒屋レストラン、ホテルの中でも気軽に入れる。97席のスペースは仕切ってグループで貸切りもOK。カラオケ装備は嬉しい！リニールアルオープンは一階が10/26、地階が29日。一階のマフィンは26/28日までランチ1800円が1



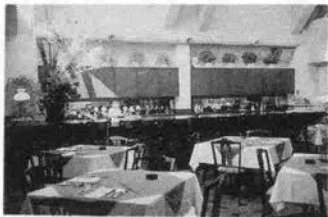
新メニューが楽しみです

★KOBÉ

グルメスポット

チーフフォンデュのお店

フロアマージュ クロ



秋も深まり人恋しくなる季節に、心までポカポカと暖かくなるチーフフォンデュはいかがでしょう。北野坂沿いコーナーハウスD・O・4Fの「フロアマージュ クロ」はチーフフォンデュを気軽に食べさせてくれるお店。

メニューはランチ1500円から、シェフのおすすめコース(5000円)では、チーフフォンデュと、和の食材を取り

入れてみたり創意工夫された欧風料理が一度に楽しめる。ワインは日本人向けにブレンドされたフロアマージュ クロのプライベートボトル。グループでワイワイとワインを飲みながらチーフフォンデュをつつくのよし、カップルで仲良く熱いチーズをフーフウしながら食べるのもまた楽しい。お持ち帰り用チーフフォンデュ(2~3人分

2000円)もある。11月11日はチーズの日ということで、この日は特別にチーズの原形である、「蘇(そ)々」をサービス。1200年頃まで日本でも食されていたという「蘇」を食べて、あなたもチーズ通になつては？

■神戸市中央区山本通1-7-11 コーナーハウスD・O 4F 12時~14時半(オーダーストップ) 17時~21時(オーダーストップ) 水曜休 電話078-241-7223